No.	題名	上映時間	内容
118	想いの“架け橋”になる公正な採用選考のために	28分	採用選考は、応募者と企業の想いを結ぶ“架け橋”と言えます。応募者はいきいきと働けるより良い職場を求め、企業は優秀な人材を採用して思い切り働いてもらいたい。その両者をつなぐ採用選考の場においては、応募者の人権を尊重し、広く門戸を開くことが大切です。また、適性と能力をはかる適切な評価基準をつくることも重要です。この作品は、人事部に配属された新入社員が、上司のあたたかい指導を受け、同期入社社員と心の交流をしながら、人事部員として採用選考の基本を身に着けていく成長のものがたりです。
117	出会いを豊かなものにー公正さでのぞむ採用選考ー	30分	公正な採用選考をおこなうために、どのようなことに気をつければよいか、また、より良い採用選考の方法はどんなものかを、わかりやすく解説しています。
116	なぜ公正採用選考は基本なのか	25分	企業にとって、良い人材を採用し育てていくことはたいへん重要なことです。この作品は、ある企業を舞台に、人事部の採用担当者たちがさまざまな部署を訪ね、採用選考のための面接のロールプレイを重ねることを描いた作品です。
115	公正な採用選考が企業にもたらすもの	25分	公正な企業において、採用選考は会社の未来を描くための大切な業務であり、それを公正に行うことによって良い人材を確保することは、企業の発展に不可欠なことです。このDVDでは、採用選考の意義や公正さをいかに守るか、具体的な事例をふんだんに盛り込み、企業の採用担当者の目線でわかりやすく描かれています。
114	“尊重する”から始めよう 公正採用選考の基本を学ぶ	29分	いま、企業は利潤追求だけではなく、社会にとって責任ある存在であることが求められています。そのものさしとなるのが企業の採用選考活動です。採用選考は短い期間ですが、その一瞬の間に会社と応募者双方の将来がかかっています。この作品では、採用選考に関わる事例を短く取り上げ、公正な採用選考の基本的な考え方と、その原点である同和問題と人権尊重のこころを学びます。
113	人権啓発は企業にどんな力をもたらすのか	25分	いま、企業は利潤追求という価値観だけでなく、社会にとって責任ある存在であるという立場が求められています。そのために、企業内で人権啓発の必要性が高まっています。そこで、この作品では、企業に働く人が人権の視点を取り入れて仕事に関わっていくことが企業にどんな力をもたらすかということを、ドラマ形式で事例をとりあげながら考えていきます。
112	フェアな会社で働きたい	25分	企業がさまざまなステークホルダーの人権を尊重することは、現在の企業にとって必須のことであり、またそのための社員教育も重要になっています。しかし、社員が人権啓発について、具体的に自分のこととしてとらえることは難しい事でもあります。このDVDでは、人事部の新入社員の体験をドラマにして、公正な採用選考をはじめとする企業における人権のあり方について学ぶ教材として制作しました。

No.	題 名	上映時間	内 容
111	なぜ企業に 人権啓発が必要なのか	22分	企業にとっての人権啓発とは何なのでしょう？具体的な人権課題を並べてみましょう。頭では、差別や偏見なく、人権に配慮して行動しなければいけないと知っているとは思いますが、では、自分の日々の業務の中で、何ができるのでしょうか。この教材は、人権啓発を考えるためのヒントを、企業を舞台に日常の会社生活の一コマを切り取ったわかりやすいドラマとして構成し、あらためて考えていただくための素材として活用いただけるよう制作しました。
110	みんなで語ろう！ 公正な採用選考	26分	企業の人事部門の担当者にとって、公正な採用選考の知識とそれを具現化する技能は体得しておくべきものです。公正な採用選考について知っているつもりでも、その基本的な考え方を改めて学ぶことは、人事採用における更なるスキルアップにつながります。この作品では、職場でありがちな採用選考に関わる事例を短くとりあげ、その事例から考えるべき公正採用選考の基本的な考え方を学ぶものです。悩める3人の採用担当者が、講師のレクチャーを受けながら考え、学び、語り合うスタイルで、分かりやすく公正な採用選考を読み解いていきます。
109	だれにでも開かれて いますか？ 公正な採用選考を求めて	27分	就職における採用選考は、応募者の人生を左右しかねないとても重要な機会です。採用する側も、応募者の基本的人権を尊重し、公正な採用選考をすることが求められます。採用する側が門戸を狭め、特定の人に絞った採用を志向するようなことになれば、応募者の職業選択の自由を侵すこととなります。この作品は、採用選考において企業が門戸を広く開き、人権に対する感覚を高めていくことが非常に重要であるという視点で、公正な採用選考を進めるための啓発教材として制作しました。
108	本当の出会いのために エントリーから始まる 公正採用選考	27分	ネット社会が広がる中、採用選考をめぐる状況も変化しはじめています。企業のサイトからエントリーシートを使ってエントリーする方法が応募の主流となり、インターネット上で採用に関するさまざまな情報交換が盛んに行われるようになっています。受験者一人がエントリーする企業数は増加し、それに対応して企業の採用担当者の業務も多忙になってきています。公正な採用選考をするためには、受験者の基本的人権を尊重し、適性と能力のみを採用選考の基準にすることが大切です。この作品では、エントリーから筆記試験、面接といった一連の流れの中で、いかにして受験者の基本的人権を守り、企業にとっても受験者にとっても望ましい採用選考のあり方が実現できるかを、ドラマスタイルで提起していきます。
107	どうして そんなことを聞くの 公正な採用のために	27分	最近では採用選考を行う際、受験者にエントリーシートを課す企業が増えています。公正な採用基準に則したエントリーシートを活用することは、採用選考の新たな可能性につながる反面、それにまつわる問題事例も発生しています。予断や偏見を取り払い、適性と能力のみを判断基準とする公正な採用選考をする事が大切です。この作品では、エントリーシートのあり方を考えることをきっかけに、採用選考担当者にとって必要十分な、公正な採用選考のための情報を紹介していきます。

No.	題名	上映時間	内容
106	内定者からの手紙 公正な採用のために	27分	採用選考を行うときには、応募者の基本的人権を尊重し、適性と能力のみを判断基準とする公正な採用をすすめることが基本です。しかし、採用選考のメインとなる応募書類や面接、筆記試験等には注意が行き届いても、内定後の書類提出などで人権的な配慮を欠くケースがあったり、採用選考が事業所ごとの判断に任されていて、公正な採用選考の意義が社内に広く浸透していない場合もあります。このビデオでは、公正な採用選考の基本となる人権尊重の意識が、採用選考のプロセスのすみずみまで、さらに会社全体まで広く行きわたることの重要性をテーマにストーリーを構成しています。
105	公正採用選考のこころ	25分	公正な採用選考をしていくうえで最も大切なのは人権尊重の意識を持つことです。意識が変わることにより、行動が変わり、また、人権を尊重するところがあれば自ずと応募者の能力と適性を正しく見極めることにつながります。このビデオは、採用選考における人権意識のあり方を考えるための素材として制作しました。また、このビデオでは、女性への偏見や、年齢を問わない採用、部落差別問題など採用選考担当者にとって必要十分な、公正採用選考のための情報を幅広く取り上げることが狙っています。採用選考の担当者の必携のビデオとしてご活用いただきたいと思ひます。